

平成29年度 埼玉県精神保健福祉士協会学術集会開催 演題の募集について

埼玉県精神保健福祉士協会
(公社)日本精神保健福祉士協会埼玉県支部
会長・支部長 濱谷 翼

本協会の学術集会も早いもので第5回を迎えることとなりました。

毎年多くの会員の方々から貴重な研究発表をいただき、昨年度も50名を超える参加者がありました。

本協会といたしましては、この学術集会の開催によって引き続き、実践と研究のさらなる連携と循環、それによる実践の質の向上等が可能になるものと考えております。

今年度も「自身の実践を振り返る」をメインテーマに、学びを深める場を持ちたいと考えております。

「いつかは学会等で研究発表をしたい!」と考えていらっしゃる方、「発表はできないけれど勉強のために参加したい!」という方、是非多くの皆様の発表や参加をお待ちしております。

記

1. 日 程：平成29年11月26日（日） 10:00～16:30（終了予定）
※ なお終了後、懇親会を予定しています。

- 2 会 場：埼玉会館 7B会議室

- 3 発表形式：1題につき、15分発表、10分質疑応答（持ち時間 計25分）

- 4 プログラム：第一部：研究発表・実践報告
演 者：（6～7演題を予定）

第二部：講 演「実践を研究の視座から捉える」

—「苦慮」を通じての援助者の成長に関する研究から考える—

講 師：高橋賢一氏（医療法人弥生会ひこばえ／熊谷神経クリニック）

コメンテーター：森田久美子氏（立正大学社会福祉学部）

- 5 発表及び参加の申し込み：

埼玉県精神保健福祉士協会の HP から様式をダウンロードの上、お申し込みください。

協会 URL：<http://www.saitama-psw.jp/>

検索：

詳細は裏面参照

～第5回埼玉県精神保健福祉士協会学術集会で発表を考えていらっしゃる皆さまへ～

対象者

- ・ 研究発表等の経験が少ない若手・中堅の方
- ・ 自身の実践を纏めることで次の実践に活かしたいと考えている方
- ・ 将来学会等での発表を考えており、研修の場として発表したい方

発表内容について

- ・ 実践報告、研究発表どちらでも OK です。
- ・ 発表テーマは精神保健福祉領域が基本ですが、その関連領域でも OK です。

希望者に対する事前・事後相談体制について

- ・ 相談を希望される方には、事務局とのメール相談が可能ですので、希望の有無をエントリーシートに記入ください。（相談は本協会の学術委員または役員が担当します。）
- ・ 相談担当決定後、担当者から直接メールで連絡させていただきます。

申し込み方法について

- ・ 埼玉県精神保健福祉士協会の HP からエントリーシートをダウンロードしていただき、必要事項を記入後、**平成29年9月30日（土）**までに以下のメールアドレスまでに送付ください。
info@saitama-psw.jp（当協会学術集会事務局）
※ なおメールの件名には「第5回埼玉 PSW 協会学術集会発表希望」と記入ください。
- ・ 採否及び連絡調整のためのメールを事務局担当者からいたします。

発表方法について

- ・ 発表時間：15分、質疑応答：10分（持ち時間25分）（パワーポイント使用可）

発表までの手続き（発表が決定した場合の提出資料は以下の通りです。）

- ・ 400字程度のサマリー（内容要約）を Word で作成をお願いします。
- ・ 当日の配布資料に関しましては、発表者が印刷を行っていただき、持参してください。
- ・ 別紙の書式に準じた抄録の提出をお願いします。

[抄録原稿提出締切日] **平成29年10月31日（火）**

不明な点は事務局までメールでお問い合わせください。

学術集会事務局 info@saitama-psw.jp（栗原・田中あて）

学術集会責任者 学術委員会委員長 相川章子（聖学院大学）